



News Release

09-D-0924

2010年1月6日

学校法人 東洋大学 (証券コード: 非上場)

長期優先債務格付据置 : 「AA」 (ダブルAフラット)

格付けの見直し : 「安定的」

株式会社日本格付研究所(JCR)は、以下のとおり長期優先債務*の格付けを見直し、据え置きとしましたのでお知らせします。

*長期優先債務格付けとは、債務者(発行体)の債務全体を包括的に捉え、その債務履行能力を評価したものです。このうち、期限1年以内の債務に対する債務履行能力を評価したものを短期優先債務格付けと位置づけています。個別債務の評価(債券の格付け、ローンの格付け等)では、債務の契約内容、債務間の優先劣後関係、回収可能性の程度も考慮するため、個別債務の格付けが長期優先債務格付けと異なること(上回ること、または下回ること)もあります。

発行体: 学校法人 東洋大学

【据置】

(対象)	(格付)	(見直し)
・長期優先債務	AA	安定的

【格付事由】

- (1) 10学部44学科、学生数約29,000人(1部・2部合計)の東洋大学を中核とする学校法人。メインキャンパスは東京都文京区白山に位置する。創立者井上円了が1887年に設立した私立哲学館を始まりとし、「哲学」を通して「ものの見方、考え方」を身につけて社会に貢献する人材の育成を目指している。
- (2) 国内の18歳人口は減少傾向にある中、白山地域への集約化を一段と進めるとともに、板倉・川越・朝霞にある郊外キャンパスにおいては社会のニーズに応える特色ある学部展開を図ることで志願者の増加に結び付けている。市場環境の厳しい郊外キャンパスにおいて、学部再編による志願者獲得力をどの程度維持しうるのか見極める必要はあるが、本学の知名度や入試戦略における実績を考慮すれば、今後も全体として志願者の増加傾向を維持することは可能であろう。
- (3) 学部再編による定員増加や、主要な学部において学費改定を実施したことにより、帰属収入の8割超を占める学納金は当面増加基調を維持するとみられる。新設学部の教員確保などによりコストは完成年度に先行するが、効率的な法人事務組織などを背景に今後も一定の帰属収支差額を確保することが可能であろう。なお、板橋区における白山地域の学生向けとなる体育・スポーツ施設の整備や、各キャンパスの施設・設備の更新が続いているが、収支状況や運用可能資産の厚みなどを考慮すれば、引き続き良好な財政基盤は維持されよう。
- (4) 厳しい環境下、より多くの志願者を惹きつけることに成功しているなど、学生獲得の基盤は安定している。2012年の創立125周年に向けた教育体制・施設整備については着実に進捗しているとみられ、今後は板橋区の施設稼働による狭隘な白山キャンパスの利用高度化にも期待したい。志願者層が厚く競争の激しい市場位置にある本学では、建学の精神を具現化しつつ、実学志向を強めることでより社会ニーズに合致した教育・人材輩出の実績を積み重ねることが、中長期の競争力維持・強化に向けたポイントとみられる。JCRでは、再編された理工学部および総合情報学部などをはじめ、本学における今後の志願者動向や教育の充実、就職状況などに注目していく。

以上

(チーフアナリスト 殿村 成信 シニアアナリスト 杉浦 輝一)

本件格付けを行うにあたり適用した主要な格付け手法は弊社のウェブサイト(<http://www.jcr.co.jp>)に「学校法人格付けの手法」として掲載されております。格付け手法は追加・変更されることもありますが、その場合は、時系列的に掲載します。本リリースの公表日と格付け手法の公表日(各手法が有効となった日)とを照らし合わせた上で、上記格付け手法をご参照ください。

格付けは、信用すべき情報に基づいたJCRの意見の表明であり、その正確性、完全性、特定の目的への適合性等は一切保証されておりません。また、格付けは、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の売買・保有を推奨するものではありません。格付けは原則として発行者から対価を受領して行っております。

※無断コピー・転送は固くお断りします。

株式会社 **日本格付研究所**

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル
<http://www.jcr.co.jp>

<情報提供電子メディア(検索コード)>

BLOOMBERG (和文: JCRA / 英文: JCR) REUTERS (EJCRA)
QUICK (和文: QR / 英文: QQ) JIJI PRESS 共同通信JLS

<お問い合わせ先>

情報・研修部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026